									<b>事業番号</b>		737
		3	平成28年度行	]政₹	事業レ	ビュ・	ーシート	(	厚生:	労働省	)
事業名	児童福	祉事業助成			担当部	吊庁	社会·援護局	障害保健	建福祉部	作	成責任者
事業開始年度	昭和	] 3 7 年度 <b>事業</b> (予定	<b>終了</b> ) <b>年度</b> 平成29年	年度	担当	課室	障害福祉課 援室	障害福祉課障害児·発達障害 援室		津曲 共和	
会計区分	一般会	会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	_			関係する通知		「在宅心身障害児(者)療育事業等助成費補助金について」 等					
主要政策・施策	障害者				経費	社会保障					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	心身障害児(者)、保護者、及び施設職員等に対し、相談・療育指導、療育研修等を行うことにより、心身障害児(者)等の福祉の向上を図ることを目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	雙以内。 域										
実施方法	補助					<u> </u>					
			25年度		26年度		27年度		28年度	2	9年度要求
		当初予算	46		42		39		37		
		補正予算 -			-				-		
予算額・	予算 の状	前年度から繰越し	_					-			
執行額	況	翌年度へ繰越し	-		-		_		-		
(単位:百万円)		予備費等	_		-		_		_		
		計	46		42	42 39			37		0
		執行額	46		42	39		_			
	執行率(%) 100%				100%		100%				
	定	置量的な成果目標	成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
成果目標及び成 果実績	心良陽	章害児(者)等の福祉	療育研修の参加人員		成果実績	人	1,474	2,002	集計中	-	-
	の向」	上を図るため療育研			目標値	人	2,937	2,857	2,346	-	1,997
	修に1,997人の参加				達成度	%	50	70	-	-	-
活動指標及び活		活動			単位	25年度	26年度	27年度	28年	度活動見込	
動実績 (アウトプット)	存育品	研修実施回数		活動実績	□	40	40	集計中		_	
	撩月叨修夫他凹奴					回	40	40	40		40
活動指標及び活		活動			単位	25年度	26年度	27年度	28年	度活動見込	
動実績 (アウトプット)	存育和	目談実利用者数			活動実績	人	14,945	13,426	集計中		1
	,,,, H 11				当初見込み	人	14,500	14,500	14,500		14,500
		算出	根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年	度活動見込
単位当たり コスト					単位当たりコスト	円/回	51,125	51,475	50,500		50,500
7/1	x:「療育研修費」/y:「研修実施回数」				計算式	x/y	2,045,000/40	2,059,000	/40 集計中	集計中 2,020,000/40	
		算出	根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年	度活動見込
単位当たり					単位当たりコスト	円/回	1,625	1,548	1,471		1,548
コスト	×	:「相談事業費」/y:「	Ţ	計算式	x/y	24,282,000/16,258	22,451,000/1	4.500 集計中	22,45	1,000/14,500	

平成		歳出	出予算目	28年度当初予算					主な増減	理由		
2	民間神 補助3		祉事業助成費	37								
8 位:	冊切ュ	<u> </u>		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
位 <sub>2</sub> ; 5												
百万円9年度予												
:百万円) 9年度予算内訳												
単			計	37	0							
		政策	必要な保健福祉	<b>业サービスが的確に</b>	提供される体制を	整備し、障害	者の地域	ぱにおける生活	舌を支援する	こと		
		施策	<b>施策</b> 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること									
	祕			定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度	
政策評価、	政策評価	測定指標				実績値	-	-	-	-	-	-
価、経済		裸	_			目標値	-	-	-	-	-	-
-					本事業	の成果と上位	施策・測	定指標との関	係			
財政再生アクショ			児(者)、保護者. ことができると見	、及び施設職員等に 込んでいる。	対し、相談・療育研	肝修等を行うこ	ことにより	、障害者等 <i>の</i>	)生活の場、	動く場や地域	における支持	爰体制の整備を
アクシ		改革 項目		_	_							
ン・		(第.,		KPI (第一階層)			単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度
	プ 成果実績				-	-	-					
クラル	アクシ経	階層)	_			目標値	-	-	_	_	-	-
۲۶	3済			1/21		達成度	%	計画開始時	-	-	中間目標	目標最終年度
関係	)・プログラ:	<u></u>		KPI (第二階層)			単位	- 年度	27年度	28年度	- 年度	- 年度
DK .	ロ再グ生	(第二階層				成果実績	-	-	-	-	-	-
	ラム	層Ⅰ	_			目標値	-	_	-	-	-	-
						達成度	%	-	-	-	-	-
					本事	業の成果と改	<b>文革項目</b>	・KPIとの関係				
		_										

			事業所管部局による点検	· ~ =				
	Į	目		評価				
事業の目的	は国民や社会のニーズを的	確に反映して	こいるか。	0	本事業は、心身障害児(者)保護者及び施設職員等に対し、 相談・療育指導、療育研修、親子ふれあいキャンプなどの事 業を行うことにより、心身障害児(者)等の福祉の向上等を図 ることを目的としているため、社会のニーズを的確に反映し ている。			
地方自治体	、民間等に委ねることができ	ない事業なの	りか。	0	本事業は、障害者基本法に基づき、同法の規定では国による障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に実施する責務が定められていることから、国が実施すべきであると考える。			
政策目的の 事業か。	達成手段として必要かつ適	切な事業か。	政策体系の中で優先度の高い	0	本事業は、心身障害児(者)保護者及び施設職員等に対し、 相談・療育指導、療育研修、親子ふれあいキャンプなどの事 業を行うことにより、心身障害児(者)等の福祉の向上等を図 ることを目的としているため、優先度の高い事業である。			
競争性が確	保されているなど支出先の	選定は妥当か	۸.	0				
				無	全国心身障害児福祉財団は、長年の活動実績があり、障害のある子どもとその家族への支援についてノウハウやネットワークを有している団体であるため、支出先の選定は妥当と考える。			
競争性	生のない随意契約となったも	のはないか。		無				
受益者との1	 負担関係は妥当であるか。			-	_			
単位当たりコ	コスト等の水準は妥当か。			0	研修の参加人数の増加に伴い単位当たりコストが減少した ため、前年度に比べてより妥当な水準を満たしたものと考え る。			
資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					専門性を有する事業者へ必要な経費のみ支出されているとともに、毎年度、事業実施席報告により実施状況を把握しており、合理的なものとなっている。			
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					本事業は、心身障害児(者)保護者及び施設職員等に対し、 相談・療育指導、療育研修、親子ふれあいキャンプなどの事 業を行うことにより、心身障害児(者)等の福祉の向上等を図 るために真に必要な経費に限定している。			
不用率が大	きい場合、その理由は妥当	か。(理由をも	5に記載)	-	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					当補助金では想定されない財産処分の制限に関する条文を削除し、文書の簡素化を図った。			
成果実績は.	成果目標に見合ったものと	なっているか。		0	成果実績は、成果目標の70%程度であり、前年度よりも良い 数字となったことから有効性は高くなっている。			
			場合、それと比較してより効果	0	家族等に対し、相談支援を行っている団体が実施することにより、より身近な支援を提供できる手段を講じていることから 実効性がある。			
舌動実績は	見込みに見合ったものであ	るか。		0	活動実績は、ほぼ見込み通りとなっている。			
整備されたが	施設や成果物は十分に活用	されているか	10	0	全国心身障害児福祉財団の支援のノウハウを活かし、研修 等を通して、支援に携わる職員の質の向上を図っている。			
割分担の具	体的な内容を各事業の右に	記載)		0	TO THE STATE OF TH			
					-			
享生労働省( 	雇用均等·児童家庭局)	683	民間社会福祉事業助成費補助金		本事業は心身障害児(者)等の向上を図ることを目的としいるが、こちらの関連事業は児童福祉司の人材養成を行と等により、児童福祉の増進に寄与することを目的としているため、分野が分かれている。			
					-			
点検結果	本事業は心身障害児者や	その家族等に	対する福祉の向上を目的として	実施して	いるもので、活動実績も概ね見込みどおりとなっている。			
			つているが、いまだ成果実績と	···果目標	に差があるため、今後も研修の開催方法を検討しつつ、引き			
	也 女事 境 受 単 資 費 下 そ 成 事内 舌 隆 関則 厚 点 改	地方自治体、民間等に委ねることができな策目的の達成手段として必要かつ適りを乗か。  現策目的の達成手段として必要かつ適りを乗か。  現意争性が確保されているなど支出先の対策を表して必要がある。  最後をして必要があるか。  の負担関係は妥当であるか。  を金の流れの中間段階での支出は合理を表して必要がある。  をの他コスト等の水準は妥当か。  をの他コスト削減や効率化に向けた工芸をの他コスト削減や効率化に向けた工芸をの他コスト削減や効率化に向けた工芸を表しな、表して、表して、表して、表して、表して、表して、表して、表して、表して、表して	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なの 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 事業か。 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か 一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(に一者応札又は一者応募となったものはないか。 競争性のない随意契約となったものはないか。 競争性のない随意契約となったものはないか。 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとな 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定。 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を表 その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われて 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられるが 内あるいは低コストで実施できているか。 を働された施設や成果物は十分に活用されているか 関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切の 別分担の具体的な内容を各事業の右に記載) 所管府省・部局名 事業番号 厚生労働省(雇用均等・児童家庭局) 683	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。  一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。  競争性のない随意契約となったものはないか。  登益者との負担関係は妥当であるか。  単位当たりコスト等の水準は妥当か。  費金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。  昨日率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)  その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。  成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。  成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。  事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果のあるいは低コストで実施できているか。  活動実績は見込みに見合ったものであるか。  登備された施設や成果物は十分に活用されているか。  関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)  所管府省・部局名  事業番号  事業名  厚生労働省(雇用均等・児童家庭局)  点検結果  本事業は心身障害児者やその家族等に対する福祉の向上を目的として  改善の  前年度よりも成果目標の達成度は高くなっているが、いまだ成果実績と  なきの  前年度よりも成果目標の達成度は高くなっているが、いまだ成果実績と	世方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。  ② 放策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い 音楽 か。  「			

	外部有識者の所見										
	行政事業レビュー推進チームの所見										
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況										
	別兄を始まんに収普点/似界安米における及吹仏沈										
1	備考										
	関連する過去のレビューシートの事業番号										
平成22年度	501 平成23年度 454 平成24年度 397										
平成25年度	756   平成26年度   754   平成27年度   770     ※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。										
	(平成27年度実績 <b>見込</b> 額)										
	厚生労働省 39百万円 〔在宅の心身障害児、その保護者に対する相談事業等に要する経費を支弁〕										
	[任七の心身障告先、ての休護者に対する相談事業寺に安する経貨を文弁]										
資金の流れ											
(資金の受け取り先が何を行っ											
ているかについ て補足する)											
(単位:百万 円)	A (福) 全国心身障害児福祉財団 39百万円										
	〔在宅の心身障害児に対する相談事業等を実施。〕										

<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」に	A.	(福) 全国心身障害児福祉財団			B.	
おいてブロックごとに最大の金額	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
が支出されている	謝金	相談員、講師に対する謝金	22.4			
者について記載する。費目と使途	その他	賃金、通信運搬費、旅費、消耗品費等	16.8			
の双方で実情が 分かるように記						
載)						
	計		39.2	計		0

## 支出先上位10者リスト

Α.								
	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
	(福)全国心身障害児 福祉財団		在宅の心身障害児、その 保護者に対する相談事業 等	39.2	-	-	-	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

プロッ名		法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	-	-	_	-	-	-	-	_